

※以下は要約文となりますので、詳細は配信動画等をご覧ください。

【知事定例記者会見】 1 月 23 日（金）

● “佐賀のお宝” をこどもたちへ

佐賀県は、食でつながるネットワーク協議会を設立し、倉庫の整備支援など、食の支援と有効活用に取り組んできた。今回は、規格外や獲れすぎ、端材などの食品に着目し、有効活用にチャレンジする。

佐賀は食材の宝庫。タマネギ、アスパラ、レンコンは全国 2 位の生産地。ノリも 2 位だが、今年は 1 位を取り返せそう。この豊かさと大切さを子どもたちに伝えたいと考え、検討を重ねた結果、さがふりかけ“OTAKARA”が完成。「だいちの OTAKARA」、「うみの OTAKARA」、「すんごい OTAKARA」はアレルギーにも配慮した。

全国学校給食週間に合わせ、県内 17 小学校の 6 年生を対象にトライアル配付する。ご意見を参考に、新年度から広げていきたい。

1 月 30 日に日新小学校で、知事も一緒に給食の体験をする予定。小学生とともに、このふりかけや食品ロスについて語り合いたい。

● 積み重ねてきた 10 年 実を結ぶ “デザインのカ”

知事就任から 12 年目。県政の主軸にデザインカを置いている。デザインとは、単にパッケージを考えるだけでなく、物事の本質、課題を的確に捉えて解決に導く仕組み。デザイナーやクリエイターと、この事業は何のためにやるのかと話し合い、ミッションやコンセプトを明確化した。

BLUE PROJECT や弘道館 2、本恋プロジェクト、「歩こう。佐賀県。」、SAGATOCO など、あらゆる県の施策に「さがデザイン」が関与してブラッシュアップする。さがデザインがハブとなり、県庁とクリエイターをつなぎ、ワンチームにまとめている。

10 年前と比較してみる。ARKS、こころざしのもり、アートパスは、管理がしやすいという理由で、生け垣や段差を造り、人が入らないようにしていた。そこを県民に喜んでもらえる場所へと、さがデザインを取り入れ造り替えた。

さが維新テラスやサンライズパーク周辺は、車中心から歩道を大切にするまちに変えるというコンセプトで造り替えた。以前のサンライズパーク周辺は、全て駐車場。文化会館のイベントがあるときは車で埋まるが、ないときは特に何もなかった。栄光橋の前

は、地下通路だった。出入口が歩道にあり、通行の邪魔になっていたが、今は大きく生まれ変わった。

ほかにも、さがさいこうフェス、イマリ・キャンドル・クリスマスやアリタ・マシュマロ・クリスマスなど、イベントを構成する際は、そのまちの将来へのいい起爆剤になるかを考慮しながら事業立てをしている。

SAGA DESIGN AWARD は、デザインの力が市民の生活に浸透できるように創設した。SAGA2024 は、デザインの力を最大限生かした取組だった。関係者や訪れる人に「新しい大会へ。すべての人に、スポーツの力を。」を体感してもらうため、クリエイターと何度も議論した。

アリーナは、建築のアカデミー賞と言われる BCS 賞を受賞。「歩こう。佐賀県。」は、ACC TOKYO 賞、消費者が選ぶ JAA 広告賞受賞。「電柱よりも太いお腹はメタボかも？」は、JAA 広告賞受賞。県民ホールで、受賞プロジェクト展示会を予定。

2月14日、佐賀大学で SAGA Design Crossing 2026 を開催。「遊び×デザイン」「挑戦×デザイン」をテーマに議論をする。デザインが生み出す可能性を進めていきたい。さがデザインの視点で“誰もが心地よく過ごせる佐賀県へ”。

● 令和 10 年開催 山の博覧会（SAGA JAM）全国都市緑化フェア

令和 10 年春開催の全国都市緑化フェア、その後秋まで山の博覧会を開催。

山の博覧会は、県内全域がフィールド。川や寺でのイベント、多良岳の登山体験、フードフェスなどから、山の営みの豊かさを県民や全国の皆さんに知ってもらう博覧会にしたい。

緑化フェアは、愛称が「SAGA GREEN JAM」。テーマは「みどりとあおのいぶき」。開催期間は、令和 10 年 3 月 25 日（土）から 5 月 28 日（日）。メイン会場は、吉野ヶ里歴史公園、森林公園、佐賀城公園の 3 か所。緑に関する過去・現在・未来を展示する。ほかにも様々なサブ会場（パートナー会場）を設ける。

自発で自由に楽しむ、人と人がつながって価値を生む佐賀らしい大会へ。

● 森川海人プロジェクトの想いを広げる

プロジェクトの原点は、九州北部水害で筑後川から有明海に大量の流木が流れ込み、山の保全の必要性を抱いたこと。平成 29 年、初代キャプテンとして森川海人くんが選

ばれた。10年かけて広がり、山の博覧会、緑化フェアにつながっている。

今回2代目が誕生するので、さらに親しみやすいプロジェクトにしたい。

<動画放映>

海人くんの絵本ができるのか。

県職員／春までお待ちいただく。

雰囲気は変わるが、弟の海人くんにも精力的な活動をしてもらいたい。初代海人くんもたまには顔を出してほしい。

● 佐賀県開催決定 WOMAN EXPO 2026

これまでは、東京、神戸、福岡、大阪での開催。8年ぶりの地方開催をSAGAアリーナで行う。「自分らしく輝く、すべての働く女性のために」という思いが軸。

女性中心のイベントだが、男性にも多数入ってもらいたい。佐賀の飛躍と躍動のきっかけにしたい。

● サガプライズ！第43弾プロジェクト“キングダム”

作者の原泰久さんは、基山町出身。佐賀愛の強い方。連載10周年では、県立美術館で原画展を開催した。今回の20周年コラボのプロジェクトは4つ。

・期間限定で「佐賀キングダム空港」誕生！

機内アナウンスをはじめ、各所で「佐賀キングダム空港」をアピール。

・千潟よか公園 読破堤

千潟よか公園の堤防では、「キングダム」の1巻から77巻までの全巻が読める。全長300mを超える読破堤。

・大將軍と巡る秦の始皇帝ゆかりの地 古湯温泉

温泉を巡ると、イラストカードや手ぬぐいのコラボグッズがもらえる。

・有田焼コラボ大皿を展示

井上萬二先生の孫、祐希氏が作製したコラボ大皿を展示。

オープニングセレモニーを来週の火曜日（1月27日）、佐賀キングダム空港で行う。「佐賀の火を絶やすでないぞ。」ということで、第43弾も盛り上げていきたい。